

令和5年度 法人本部 事業報告書

社会福祉法人杉の子会

1 施設整備事業

杉の子保育園分園予定地購入（53,073,874 円）いたしました。

太陽の子保育園 給食室ガス配管工事（1,863,158 円）行いました。

太陽の子保育園 テラス改修工事（1,918,450 円）行いました。

2 寄附金

杉の子友の会よ	500,000 円
太陽の子友の会より	500,000 円
けま友の会より	500,000 円
さんぽ友の会より	500,000 円
原田氏より	1,000,000 円
中村氏より	10,000 円

3 会議

理事会	5 回（内、1 回決議の省略）
評議員会	2 回（内、1 回決議の省略）
監事会	1 回

4 その他

機関誌「ふたば」を 6 月発行しました。

2023(令和6)年度 杉の子保育園 事業報告

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児合計	一時保育	延長保育
(定員数)	15名	15名	15名	15名	24名		84名		延べ人数
4月	4	14	17	15	18	16	84	4	279
5月	4	14	17	15	17	16	83	3	294
6月	4	14	18	15	17	16	84	2	261
7月	4	14	18	15	17	16	84	3	244
8月	4	14	18	15	17	16	84	3	236
9月	4	14	17	16	17	16	84	4	239
10月	6	15	17	16	17	15	86	0	274
11月	7	15	17	16	17	15	87	0	265
12月	7	15	17	16	17	15	87	5	296
1月	9	15	17	17	17	15	90	1	278
2月	9	15	17	17	17	15	90	4	311
3月	10	15	17	17	17	15	91	8	308
合計	72	174	207	190	205	186	1034	37	3285

4月から定員84名でスタート0歳児が4名のため1歳児の月例の低い子を0歳児との合同としました。

途中で転園や家庭の事情での退園があったが、募集をし1歳・3歳が入園。

(3歳は無認可園の突然の廃園により困っていた子) 0歳児はきょうだい入園で増えました。

職員体制(3月末状況)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	給食室	
	10人	15人	17人	17人	17人	15人	91人 計	
常勤	2	2	2	2	2	1	11	2 園長 1
非正規7	1	1	1				3	事務(3.5) 1
非正規6	1(週4)						1	補助3, 5h 1名(週2)
非正規4			1				1	1 夕方用務4h 1名
延長4	1						1	1 夕方用務3.5h 1名

実施行事 毎月身体計測は、各クラスで実施。0、1歳児クラスは毎日SIDSをチェックしています。

月	実施内容
4月	1日(土)避難訓練3日(月)入園・進級式 12日(水)誕生会 26日(水)1歳児懇談 27日(水)0歳児懇談 28日(金)5歳児年長交流
5月	1日(月)避難訓練 10日(水)誕生会 11日(木)4歳ワークショップ 16日(火)4歳児)参観・懇談 17日(水)5歳児参観・懇談。19日(金)小児科健診23日(火)3歳児参観・懇談。24日(水)2歳児参観・懇談 25日(木)歯科検診。26日(金)お弁当日
6月	1日(木)避難訓練。2日(金)5歳児ワークショップ。8日(木)保育園お誕生日。GPM。 9日～17日(土)5歳個人懇談。14日(水)お誕生会。20日(火)～22日(木)0、1歳児参観 21日(水)耳鼻科健診。23日(金)眼科健診 30日(金)4・5歳星空保育
7月	1日(土)避難訓練 2日(日)兵庫の保育を考える集会 4日(火)プール開き。5日(水)法人5歳児交流 8日(土)平和行進 12日(水)誕生会 19日(水)～20日(木)5歳夏合宿：マキノ高原。 22日(土)1年生お里帰り
8月	1日(火)避難訓練 2日(水)誕生会 3日(木)小学生ワークショップ。 30日(水)～9月1日(金)3歳児～5歳児プール参観
9月	1日(金)避難訓練：夏まつり 6日(水)誕生会。8日(金)5歳児ワークショップ。12日(火)0歳児懇談(昼) 13日(水)1歳児懇談(昼)。14日(木)2歳児懇談(昼)。15日(金)5歳児懇談(夜)。
10月	2日(月)避難訓練 7日(土)運動会 11日(水)お誕生会。11日～21日(土)3・4歳児個人懇談 13日と20日(金)5歳児ワークショップ。18日(水)年長交流(はまつばめと)27日(金)4歳児ワークショップ 27日(金)小児科検診
11月	1日(水)避難訓練 2日(木)弁当日 3日(金)小田フェスタ。8日(水))誕生会・10日(金)法人年長交流 21日(火)3歳児懇談会(昼)。22日(水)4歳児懇談会(昼)。30日(木)小田地区年長交流(感染症のため 不参加) 6日(月)より幼児クラス縦割り保育
12月	1日(金)避難訓練 5日(火)人形劇鑑賞(京芸)。6日((水)誕生会 13日(水)4・5歳児雪遊び：六甲山。 15日(金)お楽しみ会。19日(火)魚解体ショー。
1月	9日(火)お楽しみ会(けん玉・こままわし)10日(水)誕生会 17日(火)避難訓練。25日(木)4歳児ワークショップ
2月	1日(木)避難訓練 8日(金)5歳児懇談会(夜)14日(水)誕生会。1歳児懇談会(昼)15日(木)0歳児懇談会 (昼)
3月	2日(土)卒園と成長を祝う会。5日(火)大きくなったね会。2歳児懇談会(昼)。6日(水)3歳児懇談会(夜) 7日(木)4歳懇談会(夜)。11日(月)避難訓練。12日(火)移動動物園。13日(水)お誕生会。 22日(金)お弁当日。おわかれ遠足)22・23・25日次年度重要事項説明会。26日(火)中学入学おめでとう会

(保育実践)

・5月よりコロナ感染症が5類となり、濃厚接触者の特定をすることがなくなりました。が感染者がなくなったわけではなく
発熱者があった際は、緊張もしましたが、徐々にコロナ以前の保育環境に戻ってきました。

乳児幼児の交流も戻り、誕生会も乳幼児合同で実施することが出来ました。

年長さんは早い時期からおやつ後各クラスへと交流に行くことが出来ました。

コロナ禍では、感染症が流行りませんでしたが、今年度は、胃腸炎・インフルエンザ・溶連菌・アゼノウイルス等の
感染症が発症・感染がありました。

・日常の保育では、秋まで1歳児のクラスを1階にして0・1歳児混合クラスとも交流しながら、秋からは1歳児をまとめていきました。前年度に0歳児クラスを改装し広くしたことで混合クラスや0・1歳児の保育の展開が広がりました。

・幼児クラスでは、えほんを使ってプライベートゾーンの話をし着替えの配慮5歳はパンツの着替えをなくしました。プール遊びの際、目隠しや裸になった際の対応の仕方など工夫しました。

・年長交流は、法人内交流も復活し、春・秋も交流できました。

海合宿は、身体のハンディを持つ児童がいたこともあり、行き先を検討し「マキノ高原」に変え湖水浴と高原遊びができ法人3園が同じ宿で過ごせたことが良かったです。

小田地区内では、浜つばめとL字団地公園で交流しました。公立も含めた会は、感染症のため杉の子は辞退しました。

・うんどうかいは0,1歳児は、保育園ホールで実施をし保護者には杭瀬小学校へ見学に行ってもらいました。

10月の初旬でのうんどうかいで9月は暑中なので公園へ出向くのは最小限にしたことで振り返りながらのとりくみが出来ました。保護者の玉入れも盛り上がりました。道具出し入れを保護者にお手伝いしてもらうのも復活しました。

・IPPOのナビゲーターに来ていただいたのワークショップは4歳児4回。5歳児5回実施しました。

8月、夏休みに小学生向きの取り組みもできましたが7月実施の方が参加しやすいとの意見をいただきました。

・3月の卒園と成長を祝う会は、鑑賞を乳児クラス・幼児クラスに分けて参加してもらいました。

密にならず、ほかのクラスの子どもたちのお祝いしてもらえ、特に卒園式は、3・4歳児の保護者、子どもが参加することで温かい会となりました。

・配慮の必要な児童については、発達相談員(古川先生)の巡回相談や学習会で学び、意思統一してきました。

・給食室職員と保育士が、毎月計画を立て「食育」の取り組みを実施してきました。

関係業者さんの写真を張り出したり、魚屋さんに解体ショーをしてもらい好評でした。

年度末には食に関してのアンケートを取り、保護者の関心に沿って次年度の計画に生かしました。

(子育て支援)

・あそぼう会は、火曜日は、保育士が常駐して。水・木は、フリースペースにしての取り組みをしてきました。

JR尼崎南のマンションにビラをまいたりして、増えてきました。見学者にもお知らせをして来られましたが食べ事の際は特に参加が多かったという傾向がありました。

・見学は、1昨年より増えています。1才児希望が多いです。

・保護者同士の関係づくりでは、幼児クラスは春に参観懇談を午前中に開催。沢山の参加がありました。

乳児クラスは午前に参観し懇談は、14時～15時。というように工夫しました。秋昼間の懇談にした際は幼児は参加が少なく、乳児クラスには昼間の懇談会が定着してきているようです。

個人懇談は、年長は全員、3・4歳児は希望者にして取り組みました。意外と希望は少なかったです。冬にはコドモンへの動画配信もして日常の保育を伝えてきました。インスタグラム、日常を発信しています。見学者にも事前に見てもらうようお知らせしています。

・年度末にはコドモンで保護者アンケートを取りました。71パーセントの回答でした。安心して預けられているという中でも声をかけを望まれていることもありましたので回答状の要望を話し合って改善していきたいと思います。

・支援の必要な家庭については、子ども相談支援員さん・保健師さんと連絡を取りながら進めています。

・隣接地の土地購入をし新園舎建設という夢を語り、フェスタ開催・OB回りでお知らせをしてきました。古いOBの方たちからのエールが嬉しいです。近所の方も温かく見守っていただいているのも実感しました。

・11月小田子どもフェスタは、地域の学童の先生・保育士さん5団体の参加で 楽しむ子どもたち～大人の笑顔がたくさんありました。つながることの大事さを改めて感じた1日でした。

(研修)

・法人内(プロジェクト。地域調査。実践。給食。若手のチーム)それぞれで交流・学習をしました。)

・IPPOの先生を講師に学習会

・普通救命講習を実施しました。

・職員会議の際ちいさいなかまからの記事で学習をしてきました。

・園外研修として

4・5月保育セミナーに参加(オンライン)。7月:兵庫の保育を考える集会は、会場とオンラインで参加。

8月:全国合研(磐梯熱海に2名参加)。オンラインでの参加もしました。

・キャリアアップ研修は、おのおの受講しました。

・法人園会研修は、実践(わらべ歌・運動遊び)や長谷川義史氏の絵本ライブに参加しました。

・主任セミナー・経営懇セミナーの受講もしました。

2023年度 太陽の子保育園事業報告

① 園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児合計	一時保育	延長保育	障害児保育 補助対象
4月	4	11	15	14	14	16	74	0	61	5
5月	4	12	15	14	14	16	75	1	58	5
6月	5	12	15	14	14	16	76	1	61	5
7月	5	13	15	15	14	16	78	1	55	5
8月	5	12	15	15	14	15	75	5	72	5
9月	6	12	15	15	14	15	77	3	50	5
10月	7	13	15	15	14	15	79	1	67	5
11月	7	13	15	15	14	15	79	0	54	5
12月	7	13	15	15	14	15	79	0	68	5
1月	7	13	15	15	14	15	79	0	45	5
2月	7	13	15	15	14	15	79	2	50	5
3月	7	13	15	15	14	15	79	1	59	5
合計	71	150	180	177	168	184	929	15	700	60

② 職員数 (3月末状況)

クラス	園児数	常勤	パート				
			7 h	4.5h	4 h		3 h
0歳児	7	1	2				
1歳児	13	2	1				
2歳児	15	1			1		
3歳児	15	1	1				
4歳児	14	1					
5歳児	15	1					
給食室		1		1	2		
延長保育							1
保育補助					2		
用務							1
事務					1		
主任		1					
園長		1					

③ 実施行事

月	毎月実施（お弁当デー 身体測定 避難訓練 お誕生会）
4月	入園進級式 中学入学おめでとう会 全体懇談会・友の会総会（対面）
5月	3～5歳児クラス懇談会 1～2歳児クラス参観・懇談会 交通安全教室 春フェスタ グランドパパママ行事
6月	創立記念のつどい 耳鼻科健診 小児科健診 眼科健診 歯科健診 4～5歳児星空保育 0歳児クラス参観・懇談会 5歳児クラス個人懇談
7月	プール開き 4歳児クラス個人懇談 3園年長交流 5歳夏合宿 5歳児ワークショップ お里帰り保育 太陽の子まつり 考える集会 福島合研参加 5歳児平和行進参加
8月	幼児クラスプール参観
9月	3～5歳児クラス懇談会 セラピードッグと遊ぼう 就学前学習会
10月	平和のつどい 運動会 5歳ワークショップ 0～2歳児クラス懇談会
11月	小児科健診 グランドパパママ行事 4歳児ワークショップ オールあまっこ交流 幼保小連携交流 給食室ガス管工事 西園田親子まつり
12月	星のつどい（影絵鑑賞） 年長交流 交通安全教室 4～5歳雪あそび グランドパパママ行事
1月	4歳ワークショップ
2月	5歳クラス懇談会 2歳児クラス懇談会
3月	0～4歳クラス懇談会 卒園と成長を祝う会 お別れ遠足 グランドパパママ行事 3歳児ワークショップ 5歳児ワークショップ テラス改修工事 多目的ホール窓保護シート工事

④ 保育実践

5月より、新型コロナが5類移行になり、少しずつ元に戻す部分とコロナ前と変えた対応があります。コロナに入ってから、保育室へ保護者の入室を制限してきましたが、幼児クラスは夕方のお迎え時は保育室に入ってもらえるようにしました。お迎えの時に保育室に入ってもらえることで1日の様子が伝わりやすくなりました。朝の準備は引き続き子どもたちと保育士で行うようにしています。

乳児クラスは朝夕とも入室できるようにしましたが、ロッカーの傍につい立てで仕切り、子どもたちが落ち着けるよう工夫をしました。

部分的に保護者が入室することで、以前より会話がしやすくなりました。

3園の年長児クラスの合宿は、例年の福井県ではなく、琵琶湖の近くのマキノ高原へ行先を変更しました。それまではバラバラの民宿での宿泊でしたが、全員で同じ施設で宿泊でき就寝時以外は、ずっと同室で過ごし交流できました。敷地内の川遊びや琵琶湖での湖水浴も経験でき、自然の中でゆったりと過ごせました。また、コロナ以降久しぶりに合宿前に交流ができ、互いの保育園へ訪問出来ました。

運動会は、昨年度より全園児で園田小学校で開催し、各家庭2名の参加でお願いしました。今回は保護者ゲームもプログラムに組み入れて、子どもたちの声援で盛り上がりました。道具、遊具出しのお手伝いも保護者から申し出がありました。

改めて、おとなたちが笑い合ったり、協力し合う場面を子どもたちに見せられることを大切にしたいと思いました。

また、残暑がきびしく、熱中症の危険がある為、練習期間を通常よりも短く設定しました。職員からは「時間がなかった」という感想が聞かれましたが、健康面への配慮を優先させての取り組みにしていけることが課題だと思いました。

食育では、保育士と栄養士が連携して年間計画を立てて実施しています。その様子はインスタや壁新聞などで保護者にお知らせしています。これからは保護者も知識を得るものも計画していきます。

クッキングはクラスごとで計画してこまめに取り組んでいます。旬の食材を大切にすることを提案したのを受け、内容が変わってきました。

年長児交流が地域での「オールあまっこ交流」や「幼保小連携」で小学校での交流会に参加できるようになりました。同じ学校に行く顔見知りの友達ができ、クラスの中で一人で行く小学校への不安が少し和らいだと保護者からの声がありました。

12月の星のつどいはコロナ後、初めて夕方からの開催にして、保護者も参加し、子どもたちのミニパフォーマンスと影絵劇団の公演を楽しむことができました。

12月以降、病休の職員が発生し、また長年0歳児保育を担当してきた職員が亡くなるという事態が発生し、保育士の募集をしましたが様々な方法で探しても見つからず、杉の子からの応援と、けま太陽の子からの保育士の異動で切り抜けました。法人内に複数の施設がある利点で太陽の子は救われました。

卒園と成長を祝う会は昨年は3部に分けたのを、今年は乳児と幼児の2部に分けて開催しました。以前のように全クラスでの開催は、会場の関係で無理だと判断しました。それでも年長さんの「太鼓」は乳児の保護者にも披露し、3～4歳児クラスの保護者に年長さんの姿を見てもらえたのは良かったです。

今後も乳児幼児分かれての開催になると思います。

⑤ 子育て支援

4歳児クラスと5歳児クラスは昨年度より時期を早めて、夏に個人懇談を行い、日頃の思いや不安など出してもらい専門機関に繋げるなど対応もでき、有意義なものになりました。

意外と育休中の保護者の方が、午後4時のお迎え時に混雑するので話せていない事にも気付きました。

全体懇談会は、お迎え時間にさみだれ式で数回に分けて開催しました。友の会の取り組みも紹介して知ってもらう機会になりました。

クラス懇談会は、保育参観後の午睡の時間や、以前より30分早く、17：30から開始して負担が減る工夫をしました。

保護者対象に就学に向けて「勉強の会」の先生に来てもらっての学習会を開催し、保育士も参加して大切にしたい事など保護者と認識を一致させることができました。

インスタグラムを発信し保育の様子を伝えています。見学に来られた方からも「よく見えています」など言っ

あそぼう会

週2回月曜と木曜に開催しています。多い日は10組以上の参加がありましたが、少ない日には1～2組の日もありました。保育園見学の希望があればあそぼう会開催の日に受けてけてあそぼう会を紹介し、実際に参加される方もいました。お母さん同士のつながりができ、和やかな雰囲気です。協力的なお母さんも多いですが、年度のはじめは参加者が減少するので見通しをもって対策していく必要があります。

⑥ 研修

全国保育団体合同研究集会	13人	兵庫の保育を考える集会	15人
兵保連セミナー	13人	法人内研修	10人
法人園会研修	8人	経営懇セミナー	2人

8月の全国保育団体合同研究集会に、昨年度の1歳児クラスの実践をまとめて報告しました。クラスリーダーの保育士が中心となってまとめましたが、一緒に組んでいた若手の保育士にとっても、やってきたことを一緒に振り返る作業によって、実践の意味を再確認でき、自信にも繋がっていきました。

2023 年度 けま太陽の子保育園 事業報告

① 児童数 一時保育利用者数 延長保育利用者数

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計	一時 延べ数	延長保育 実数 /延べ数	
定員数	6	9	9	12	24		60			
4月	5	11	10	13	29		68	10	10	64
5月	6	11	10	13	29		69	13	10	51
6月	7	11	12	13	29		72	12	8	40
7月	7	11	12	13	29		72	12	11	49
8月	7	11	12	13	26		69	8	16	58
9月	7	11	12	13	26		69	2	13	72
10月	7	11	12	13	26		69	7	14	62
11月	7	11	12	13	26		69	7	8	48
12月	7	11	12	13	26		69	7	12	84
1月	8	11	12	13	26		70	20	11	36
2月	8	11	12	13	26		70	14	11	41
3月	8	11	12	13	26		70	12	15	69
合 計	84	132	140	156	324		836	124	139	674

② 職員体制（3月末状況）

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	園長/ 主任	給食	合計
正規	2	2	1	1	1	1	1 / 1	1	11
非正規 7 h	1			1					2
非正規 6 h			1						1
非正規 4 h	1	1			1				3
延長 3 h	1								1

補助（5 h）1名 用務（3 h）1名調理補助（4 h）2名

③ 実施行事

※毎月、お誕生会、避難訓練、お弁当日

4月	進級・入園式、0才児懇談会 さみだれ全体懇談会
5月	1才児保育参加&懇談会、2才児保育参加&懇談会、3才児保育参加&懇談会、4歳児保育参加&懇談会、5歳児保育参加&懇談会
6月	眼科健診、歯科健診、小児科健診、グランドパパ&ママ、
7月	プール開き、平和行進、夏合宿（5歳児）、夏祭り、保育体験（小学生）
8月	平和のつどい
9月	星空保育、うみぐみ個人懇談、ことりぐみ個人懇談
10月	おひさま個人懇談、そらぐみ個人懇談会、運動会
11月	おやこまつり、にじぐみ個人懇談 小児科健診、おはなぐみ個人懇談 園田小学校5歳児交流、オールあまっこ5歳児交流
12月	星のつどい おもちつき 冬季休園
1月	各クラス懇談会
2月	
3月	卒園と成長を祝う会、グランドパパ&ママの会、移動動物園、けまパーク、中学生のつどい

④ 保育実践

幼児保育では夏以降も縦割り保育を実践し、見えてきた課題を職会で共有し後半期のクラス保育に活かしていきました。また、他2園の実践を動画や職員交流で意見交換し自園の取り組みの見直しなどにつなげていきました。

⑤ 子育て支援

- ・毎週火曜日に行っている地域開放日「あそぼう会」では参加してくれる親子が定着し後半期では親同士の交流が盛んになっていきました。担当保育士の手伝いを率先して行ってくれる保護者も増えみんなで交流の場を作っていく機運を感じるがありました。
- ・園を解放し、年に3回お祭りを開催。回を重ねるごとに地域から参加してくれる方が増え特に小学生の参加が多くなり楽しみにしてくれている様子がうかがえます。保育園を地域の拠点にする思いを掲げて「けま太陽の子に行ったら、なんか楽しいことがある」と思ってくれるような取り組みを意識しながら内容の工夫をしていきました。

⑥ 研修

兵保連春セミナー13名 兵庫の保育を考える集会 14名 全国合同保育研究集会 14名
福祉4団体4名 法人保育園会 10名 経営懇 1名 IPPO 主催研修 10名

- ・対面での研修が復活し、積極的に参加につなげていきました。講座ではなく分科会の参加をできるだけ促し様々な人たちとの意見交換の経験を積んでいきました。
- ・全国合同保育研究集会では2名で福島県へ行き、現地の声を直接聞くことで震災後の保育やいまだ復興につながっていない様子を知り、さっそく若い職員が原発の事を学びたいといういろいろ調べる様子があり現地で体感することは大事だなあと改めて実感しました。

2023 年度 さんぽ支援センター 事業報告

2023 年度は一定コロナも落ち着いて、利用が戻ってきましたが、他所に移る方やグループホームに入所するなど、さんぽ利用がなくなっていくケースもありました。相談は多く、見学者もありましたが、利用に結び付いたケースは 3 例でした。

家庭の状況も介護者を抱えるなど、困難な面も見えていますが、支援を行き届かせていきたいとコーディネーターに反映させています。

1 実施事業について

***移動支援は** 利用者が 22 名となり 昨年から新規で 2 名ふえ解除 3 名で 1 名の減でした。契約時間は 400 時間、実績 300 時間超えが定着してきた年度でした。移動支援の内容もスタッフのアドバイスや家族の要望も取り入れ、一辺倒にならないよう、経験することの大切さをまず念頭に置いて行先を考えています。利用者も新たな経験の喜びが定着するなど、いい方向で働いています。さらに次年度に向けてきめ細かく進めていく必要があります。

***居宅支援は** 4 名 30 時間です。1 名減 1 名増でしたが、それぞれ状況に特徴があって、ヘルパーの支援がケースバイケースで会うように配置しています。話されるのが極端に嫌な利用者や食事の内容に注文が多い利用者など、ヘルパーの対応がキーワードになっています。

引き続き、いろんなニーズにこたえていけるようにニーズをいろんな角度から受け止めていきたいと思います。

***日中一時支援は** 9 名の登録、利用日数合計 5 - 6 日です。

日中一時支援は単価が安く、撤退する事業所も年々増えています。制度的には、居場所として過ごせるという、とても良い制度ですが、報酬が 4 時間で 1500 円程度と、とても低いのです。

「今利用しているところが辞めるので」という相談も多く、利用日数を増やしたいという現利用者もあります。学生の問い合わせが多いのも特徴でした。

常駐スタッフが対応していますが、単価引き上げの動きを作っていきたいと思います。

***短期入所は** 2023 年度は他所に移った利用者もいて、15 名と少なくなりましたが、利用日数は変わっていません。新規ヘルパーが入り、運営がよくなりました。又、メンバーによっては対応が大変というときはサブの入る時間を早めるなどの対策を講じていきたいと思います。

尼崎市の短期入所事業のネットワークでは、年 4 回の全体会議をしました。グループホームの参加が増えています。虐待防止や感染症対策などの交流がありました。

人材育成と研修

短期入所 移動支援 部門別のヘルパー会議を実施しました。

利用者の行動などの共有理解をしました。いろんな角度から見ていくことやヘルパーの認識を統一していくことが大切だと思いました。全体像がわかり、ヒントになったという感想が聞かれました。

学習は全国的な取り組みにスタッフが参加しました。土日のとりくみなのでヘルパー参加は難しいですが、障害福祉の事業を進めていくための大切な考え方が学べる場ですので、これからも保育園 IPPO 全国団体の研修を知らせていきます。

3 保護者対応

*個別支援計画にもとずいて個別面談をしました。

新規利用の人も新たに信頼関係を結ぶ土台として 利用者の生い立ちから聞き、保護者の考え方の変化をできるだけ率直に話していただけるようにしました。さんぽ支援センターに対しての要望を出してもらえるようにしました。ニーズにあった事業所となると、なかなか見つからないという声を聴きました。いつでもなんでも相談していただけるよう開いていかなくてはと考えます。

4 運営の改善

さんぽ支援センター会議も月 2 回定例で実施してきたので、その都度の問題点に速やかに答えることができます。急な変更やキャンセルの時の対応が、事務所が開いていない土日などは緊急携帯を持つようにしたことで、スムーズになり、よかったです。

コーディネートが決まってからの変更対応もたくさんありますが、すべて日誌に記入するようにしました。ミスは少なくなりました。(電話だけでなく FAX・メールなど残るものでの変更依頼を再度しています)

*資金作りを地域の力も借りて

友の会の資金作りも年 2 回の物品販売 毎月のお菓子販売、シーズンの取り組みなど、利用保護者の力を借りて進めています。又、地域からも「よかった」と言って協力してくれる人も出ています。保育園卒園保護者にも物品販売を依頼していますが協力的です。卒園児の近況など聞けてこちらもうれしくなります。目標を達成できるよう地道に取り組む必要があります。

5 他事業所とのかかわり・運動のかかわり

*他事業所とのかかわりは 担当者が変わったりしても、すぐに連絡があり、支援の共有になっています。モニタリングも定期的にするところと 電話で年 2-3 回の所もありますが、全ての利用者についてみてくれています。支援の充実や広い視野での気づきもわかります。

*運動とのかかわりは きょうされん・兵障協・全障研があります。

まだまだスタッフどまりになっていますが、ヘルパーにも広げていきたいと考えています。

各事業の利用者数・実績

移動支援		居宅		日中一時	短期入所
利用者 22	男性 13	家事 2	通院 3	9	男性 10
	女性 9	身体 2			女性 5
実績時間数	260 時間	60 時間		6 日間	月 1 6 回のべ 75 日
ヘルパー	12 人	6 人		3	8

毎月	コーディネート会議 さんぽ職員会議 避難訓練 支援センターだより発行 利用者だより発行	
月	全体	利用者
4 月	個別懇談 個別支援計画(後半) の説明 各種マニュアルの改正 考える集会参加	毎月 キッチン 9 ツキイチアートの利用あり
5 月	個別懇談 ヘルパー会議 IPPO 総会 物品販売周り	
6 月	虹の会学習会参加 ケース検討会議 5 園研修	塚口うたう会参加
7 月	消防設備点検	IPPO ワークショップ
8 月	ヘルパー会議・研修 合研参加	花火を見る会
9 月	虹の会学習会	
10 月		塚口うたう会参加
11 月	西そのだ親子まつり参加 虹の会学習会参加	
12 月	クリスマス会	
1 月		お正月遊びの会
2 月	きょうされん署名の取り組み 物品販売周り	
3 月	消防設備点検	いちご狩り